

日	月	火	水	木	金	土
	1日	2日	3日	4日	5日	6日
	あいさつ運動 コミセン専門部研修 ダム水利組合理事会	同和教育推進 協議会総会	センター長会		稗原児童クラブ 運営委員会	
	習字教室		輝らきら体操 (交流)			
7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日
			笹巻づくり	☕ コミカフェ 地籍調査関係者 説明会		
		リリーハーモニー	輝らきら体操 (交流)	南中地域学校 運営理事会		
14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日
		小学校地域学校 運営理事会			稗原いきいきクラブ	
しよくどう森々 (交流) 狂犬病予防接種 (交流P)	習字教室	まめな教室	輝らきら体操 (交流)			
21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日
	自治会長会 地区災害対策 本部会議	広報配布 地区災害対策 本部長会議		☕ コミカフェ		
			輝らきら体操 (交流)			
28日	29日	30日	資源物はヒラオカ資源リサイクルステーションへ！ みんなで集めて、かしこく地域で活用しましょう！ 稗原ささゆり会 			

※ 上記は、5月中旬時点の予定であり、追加および変更されていることがありますので、ご了承ください。

### こーのこらむ

◆日本の2/3、島根県の4/5は森林である。この森林は保水や酸素を生み出すことで環境にはなくてはならない存在である。◆東南アジアやアマゾンでは大量の不法伐採等で森林資源が減少傾向にある。それに伴う水害なども各地で発生している。また北米やオーストラリアでは森林火災により大きな被害が出ている。アフリカは温暖化による砂漠化で緑地の減少がすすんでいる。化石燃料の消費による地球温暖化は二酸化炭素を吸収しきれない森林面積の減少にも起因するかもしれない。◆日本では戦後、国策としてスギやヒノキの植林を推奨した。植えた木が子や孫が大きくなるころに高く売れるといわれこぞって植林したものだった。ところが、伐採適齢期になっても見向きもされなくなり山は荒れて、イノシシ等の有害獣のかっこうの棲み処となってしまった。またスギなどは花粉症の原因にもなっている。◆稗原も総面積 21 km<sup>2</sup> の 80%以上が森林である。この資源が何とか活用できないものか？国産材が目立って来てはいるが、輸送道をつけたりする経費の割に買取価格は高くはない。環境に配慮して伐採後の植林が義務付けられるようになった。森林に関する税金や募金の用途をさらに国土保全に結び付く形で再考してほしい。森林環境税(国税) 2024 年度から年間一人 1,000 円、島根県は水と緑の森づくり税 500 円を徴収している。間伐の推進、バイオマスへの更なる活用など国策として我が国の森林を守り、活かしていく道筋が見いだせるとよいと考える。

センター長 高野正次

## 集う・学ぶ・繋ぐ コミュニティセンター報


2026  
5月号 No.370



### 稗原地区の世帯と人口

令和8年4月末現在(前月比)  
世帯数 536戸( - 1)  
人口 1,419人( - 7)  
(男) 704人( - 2)  
(女) 715人( - 5)

【発行】稗原コミュニティセンター  
TEL 48-0001 FAX 48-0048

 [hiebara-cc@local.city.izumo.shimane.jp](mailto:hiebara-cc@local.city.izumo.shimane.jp)

稗原コミュニティセンター



### 田植え 5/7 (木)

市森営農組合・農青連・J A・地域の皆さんの協力のもと、稗原幼稚園と稗原小学校の皆さんで力を合わせて田植えが行われました。

はじめは恐る恐る田んぼに入っていた子どもたちも、徐々に泥の感触に慣れながら、小学生が幼稚園児を手伝う姿は心温まる光景でした。今回植えた苗は4か月後の収穫のころには黄金色に実り、おいしいもち米へと実ってくれることでしょう。

秋の収穫が待ち遠しいです。

